

T u t t i

岡山県合唱連盟機関紙トゥッティ91号

発行責任者：事務局長 内田 毅

事務局：岡山市中区福泊 168-7 内田方

TEL:090-4695-7826/FAX:086-274-2726

e-mail : utida244@yahoo.co.jp

主な内容

- 2面 私の合唱体験（前編） 棚田 國雄
- 3面 アンサンブルコンテスト（結果）
音楽著作権ア・ラ・カルト（4）
- 4面 コンサート情報
事務局通信

全日本男声合唱フェスティバルを終えて

岡山県合唱連盟副理事長 長尾節子

昨年11月29、30日、全国から25の男声合唱団が岡山に集い、力強く、重厚なハーモニーを響かせてくださいました。

新体制になり初めての全国規模の大会に、各担当スタッフは万全の態勢でお迎えできるよう準備を重ねてまいりました。

いよいよ本番前日、ホール下見、合同合唱と各団の練習を熟した参加者は、いざ夜の交流会へ。

岡山県酒造組合ご協力による地元の銘酒、サントリー御提供の飲み物が所狭しとテーブルに並んだ会場は熱気にあふれ、その盛り上がりの速さには驚かされました。終宴は岸全日本合唱連盟理事長の指揮で大合唱となり、さすが合唱紳士集団の面目躍如でした。

「晴れの国岡山」を象徴するかのように青空の広がった本番当日、朝10時から夕方5時までのステージは、おかあさんコーラス顔負けのパフォ

ーマンスあり、衣装に凝ったグループあり、これぞ男声合唱の王道というグループありと、全国レベルの演奏を堪能することが出来ました。

終演後MCをしていた私のところに小さな落し物が届けられました。「楽屋近くで駐輪券の落し物がありました。お心当たりの方は・・・」しばらくすると「私のです。よくこんな小さなものを、ありがとうございました。」その方の表情は今回のフェスティバルの全てを物語っているように思えました。

こよなく合唱とお酒を愛し、少年のような初々しい心を持った参加者は、各々が楽しかった思い出を一杯に帰路につかれたと確信いたしました。

当日、会場にお越し下さった皆様、長時間ありがとうございました。これからも多くの行事が控えております。力を合わせ、合唱の輪が広がりますよう、ご協力をお願いします。



昨年の11月中旬、棚田先生からお電話をいただきました。「高松での全国大会を聴きたいのだけれど、チケットはどうすれば手に入りますか?」と。当日券がありますので、とご案内し会場でもお声をかけていただきました。岡山第九の打ち上げで再びお話しする機会がありました。先日のコンクールのことから合唱教育の現状まで・・・私一人で聴くのはもったいないと、Tutti への投稿をお願いしました。長文でしたので2回に分けて掲載させていただきます。

《特別寄稿》

私の合唱体験（前編）

合唱による《感動体験》

連盟機関誌の行事案内記事を見て、昨年 11 月 23 日に香川県民ホールで開催された 67 回全日本合唱コンクール全国大会 2 日目を聴いた。10 時過ぎから夕方まで、「心洗われるような素晴らしい演奏」を聴いた。どの団体も作品に対する真摯な対決姿勢で、集中力と歌う力を最大限に発揮し聴衆に深い感銘を与えた。私は、心地よい疲れをマリンライナーの中で癒しながら帰宅した。

昨年は、偶然か小中高の N コンの県大会・中国地区大会・全国大会等を TV で視聴し、合唱の素晴らしさに感動させられた。また 11 月 30 日岡山市で開催された全日本男声合唱フェスティバル、6 月に京都コンサートホールで開催された「東西 4 大学（早稲田・慶応・同志社・関西学院）合同演奏会」の記録 DVD を友人から借りて視聴し、そのリハーサル・エール交換・各団演奏・合同演奏・アンコール・ストームなど感動の 140 分を、いっきに聞くなどうれしい年末だった。

思い起こすと 20 歳前後の学生時代に、強力な合唱の感動体験があったことを思い出す。それは、戦後間もない岡山市公会堂（現県庁東端）で、アメリカ軍人の男声合唱団「デ・ポアー」の演奏を聴いた時だった。音色・ピッチの揃った完全なユニゾン・純正調のハーモニー・豊かな男声の響きに、「身の毛がよだつような体験」をし「合唱はこんなに人の心を揺さぶる。」と感激したことだった。

この体験が、その後岡山大学混声合唱団「グリークラブ」の創設・岡山放送合唱団入団とつながっていったように思われる。昭和 28 年に仲間と岡大グリークラブを創設し、無謀にもその年に関西合唱コンクールに出かけた。大阪朝日会館（現フェスティバルホールの前）で行われたコンクールの直前の練習は、ホールの屋上やロビーで思い思いにやっていた。隣に関西地区の男声合唱団がきて声を出すと、我々の声はかき消されてしまい大きなショックだった。その思いを持ったまま初代指揮者 Y 氏の棒でステージに立ち、名門の演奏に感動したが、惨めな思いのコンクール参加となった。

大学卒業後小学校に就職し、児童発声などわからないまま N コンに参加した。当時は児童の頭声発声が研究され始めた時代だったが、何も分からないまま高い声は弱声で歌った。コンクール当日、高梁の M 氏の指揮する小学校の素晴らしい合唱（たしか橋本邦彦作曲の「ひつじ」）に驚き、指導によっては子供でも素晴らしい合唱ができるのだと知った。

昭和 30 年代有名なウィーン少年合唱団が来日し、

《訃報》

元岡山県合唱連盟副理事長で岡山県合唱連盟相談役 丸池 和男 先生が 2 月 18 日に 83 歳でお亡くなりになりました。生前の合唱連盟への多大な貢献に感謝し、心よりご冥福をお祈りします。（上の文章中に M 氏として登場されます。）

岡山混声合唱団 棚田 國雄

県内では倉敷・岡山などで演奏会があり感動をもらった。昭和 36 年の倉敷公演を聞いた当時の県知事三木行治氏がいたく感動し「桃太郎少年合唱団」がその翌年誕生し、私はその指導のお手伝いをする事となり 50 年間関わってきた。

桃太郎が北ドイツの小さな町で演奏会をして、その帰路日曜ミサで有名なレーゲンスブルク大聖堂を見学するため訪れた。壮大な大寺院を見学していたら、明日のミサの祭壇で歌ってもよいという話があった。一行は旅の疲れも大きくミサの中の祭壇で歌うことは、全く考えてなかったで困ってしまった。幸い教会の副楽長がパイプオルガンで伴奏してくれることになり、モーツァルトの「アヴェヴェルムコルプス」を歌うことにしてホテルで一夜漬けの猛練習をした。翌朝 9 時からミサが始まり、1 時間程待って祭壇に登り歌った。疲れと緊張でやはり合唱はうまく歌えなかった。でも、パイプオルガンの美しい響きが高いドームの天井に舞い上がり、また舞い下りて頭上に降りかかるのだった。それはまさに「天上の音楽」のように感じ、不思議な感動を覚えた。

その翌年レーゲンスブルク大聖堂少年合唱団が初来日し、桃太郎が主催して岡山公演をシンフォニーホールで開催したところ、1950 名入場の満員の演奏会となり、関係者一同大感激した。このことがあって同合唱団とは親しく交流することになった。

この演奏会の翌年、地元山陽新聞社創刊 120 周年記念の国際文化交流事業として、「ウィーン少年合唱団と桃太郎少年合唱団との合宿」が、彼らの楽園といわれヴェルテ湖畔にある合宿所で行われた。

同団のブルックナーグループと 1 週間の合宿をし、同団のかつての有名な指導者ハッラー先生に指導を受け、最後の日に近く小さな教会で、世界初と言われるジョイントコンサートを開催した。

この合宿所は、約 100 名が宿泊できるベッドの部屋・高い天井の総合練習場・食堂・グループ練習室・来賓室・芝生の運動場・水泳場等同団の OB が知恵を出し合って建設し、団員たちの楽園とまで言われている理想的な合宿施設だった。同合唱団には音楽指導・学習指導・生活指導や運営に携わる職員など 75 名がおり、団員の宿舎はウィーン銀行所有のアウガルテン宮殿が提供されているのだった。

彼らの 500 余年の歴史をたどると、第一次・二次大戦などで壊滅的な打撃を受けたが、それを乗り越えて復活に献身したヨーゼフ・シュニット神父が居られたことを忘れてはならないだろう。

（以下、次号へ続く）

アンサンブルコンテスト 9時間の熱演

2月8日、第22回岡山県ヴォーカルアンサンブルコンテストが早島町民総合会館「ゆるびの舎」で開催された。今年は74団体の参加があり、朝10時から延々と9時間に及ぶ熱演が繰り広げられた。

結果のうち金賞受賞団体と、特別賞、全国大会推薦団体は下表のとおりです。

第22回岡山県ヴォーカルアンサンブルコンテスト結果一覧			2015/2/8(日)		早島町民総合会館「ゆるびの舎」		
演奏順	部門	団体名	賞	出場団体数	優秀賞	グランプリ	全国大会推薦
5	重唱	倉敷少年少女合唱団OB+育成会チームOKA	金	6			
6	重唱	Tsuto Musica	金		○		
11	ジュニア	Kくすのきコーラス	金	19			
12	ジュニア	一音入魂井	金				
15	ジュニア	総社西中学校コーラス部 Team-O	金				
16	ジュニア	だんご15姉妹	金		○		○
17	ジュニア	倉敷少年少女ジュニア	金				公募枠で出場
19	ジュニア	フォルテッシモン	金				
6	高校	Shujitsu Jubilee 110	金	23			
8	高校	おんぷてい ダンプティ	金				
11	高校	Fe～鉄～	金				
17	高校	歌姫	金		○	○	○
20	高校	スマイリーAymmyず	金				
22	高校	総社高等学校合唱部	金				
23	高校	ピコニッシモ	金				
1	女声	La Voce 第一章	金	12			
2	女声	ころ びゅあ	金		○		○
7	女声	倉敷少年少女シニア	金				
10	女声	La Voce 第二章	金				
11	女声	Coro Piace	金				
4	男声	音羅(Onra)ヴォーカル・アンサンブル	金	4	○		公募枠で出場
4	混声	くらしき作陽大学合唱団イル・マガッツィーノC	金	10			
5	混声	コール・ゆうぶんげん	金				
8	混声	真咲木	金		○		

《寄稿》

音楽著作権ア・ラ・カルト～その4

森脇 英樹（岡山市民合唱団鷺羽）

（岡山県行政書士会著作権相談員）

今回は、外国曲のオペラ・ミュージカル・バレエ作品の演奏についてお話しします。

◇以前この「Tutti」で、外国曲を映画・ビデオ・DVDなどの映像ソフトに録音する場合には、まず音楽出版社などの権利者と事前協議をして使用料を決める必要があると申し上げました。ただ、この場合でも利用許諾を行うのはあくまでもJASRACなどの著作権管理事業者であって、使用料が権利者の指定した額になるということでした。

◇今回問題となるのは、一見演奏のように見えても、外国曲のオペラ・ミュージカル・バレエなどで歌詞・楽曲を上演する場合のように、音楽を「演劇的に」演奏するときの権利(これを「グランドライツ」と呼んでいます)関係がどうなっているかということです。このようなケースにおいて、世界の多くの国では伝統的に音楽出版社や、作詞家・作曲家本人、専門の団体が権利を持っていて、本国の演奏権団体などは、管理していません。

JASRACは、外国曲についても、本国の演奏権団体などとの相互管理契約や本国の音楽出版社から日本での権利行使を委託されている日本の音楽出版社の委託によって、日本で利用許諾を与える権利をゆだねられています。そもそも本国の演奏権団体などが管理していないグランドライツについては、日本で管理することはないということになります。

◇したがって、多くの外国曲について、JASRACは「演劇的」な演奏については日本では管理していない、すなわち許諾を与えることができないということになり、JASRACからいくら演奏利用の許諾を得てもそれは通常の演奏についての許諾であるに過ぎず、グランドライツに当たる利用をすれば無断利用となり、権利者に対する著作権侵害行為となってしまいますので、注意が必要です。

◇「グランドライツ」が適用される範囲については、オペラ・ミュージカル・バレエ作品を本来のオペラ・ミュージカル・バレエとして上演する場合に適用されるのはもちろんです。問題となるのは、「コンサート版」と称して、オペラ・ミュージカルの全曲をオリジナルのとおり順番で全曲演奏・歌唱する場合です。ミュージカルが発達したアメリカで、「ジーザス・クライスト・スーパースター」をめぐる裁判になりました。アメリカの裁判所の見解によれば、それは単なる演奏ではなく、「演劇的演奏」と認められているようです。

◇それではステージ上で、外国のミュージカルの中の1曲だけでも特有の装置・衣装を用いたり、演技や振り付けを加えて演奏した場合はどうでしょうか。やはりグランドライツとなるのでしょうか。皆様はどのようにお考えでしょうか。

※参考資料 「ライブ・エンタテインメントの著作権」

(福井健策編 福井健策・二関辰郎著 公益社団法人著作権情報センター刊)

CONCERT INFORMATION

倉敷コール・クライネ 創立 35 周年第 33 回定期演奏会	コロポーニョ 7 周年記念コンサート
と き 平成 27 年 5 月 17 日 (日)	と き 平成 27 年 5 月 17 日 (日) 14:00 開演
と ころ 倉敷市芸文館	と ころ ジーンズホール (児島交流センター 3F)
曲 目 Missa brevis in D 女声合唱曲集「よかったなー」 ヤーデ (シューベルト)	曲 目 女声合唱曲集「ことのはの葉ずえで」 ディズニーアニメより ポップス「待つわ」「浪漫飛行」他
入場料 1000 円 (前売り 800 円)	入場料 無料
お問い合わせ 086-422-7604 (吉田)	お問い合わせ 086-472-4004 (谷田)

【事務局通信 I】

正月からあつという間に春、3月。年とともに時間の経つのが早いと感じるこの頃です。

さて、連盟も新体制に変わって1年がたとうとしています。先月のアンコンで予定した行事は完了しました。大きな破綻もなく最初の1年を乗り切れたことにホッとするとともに、連盟会員の皆様の心からのご協力に深く感謝申し上げます。それぞれの事業を簡単に振り返ってみましょう。

① 定例総会 (4/13)

午後の予定を午前中に変えさせていただきました。

初めての総会運営のため受付等でバタバタし、ぎこちないところもありました。ご協力ありがとうございました。

② 第 67 回岡山県合唱フェスティバル (6/1)

今年もブロック講評を取り入れました。講評者に源田俊一郎先生をお願いしたついで(?)に講習会を開催し、フェスティバルで発表演奏をおこないました。好評につき今年も辻先生で実施します。

③ 第 37 回全日本おかあさんコーラス中国支部岡山大会 (6/29)

13 団体が参加し、歌とパフォーマンスを競いました。「コール・ココ」が新潟での全国大会に推薦されました。

朝日新聞岡山総局長に選考委員に加わっていただきましたが、重荷だったかも知れません。

④ 第 67 回岡山県合唱コンクール (8/3)

12 団体が中国支部大会出場をかけて戦いました。「総社中学校」が加盟後すぐに出場され、中国大会への切符を手に入れました。糸賀省は岡山城東高校、全日本理事長賞は「合唱団こぶ」が受賞されました。

⑤ 第 37 回全日本おかあさんコーラス全国大会 (8/23,24 新潟市)

岡山県代表として「コール・ココ」が出演、審査員奨励賞(長谷川冴子)を受けられました。

⑥ 第 53 回中国合唱コンクール (9/20,21 広島市)

岡山県代表として 8 団体が出場しました。合唱団こぶが全国大会に 6 年連続で推薦されました。また全日本理事長賞も昨年に続き受賞されました。

⑦ 第 3 回全日本男声合唱フェスティバル in 岡山 (11/29,30)

この大会ではスタッフとして 100 人ほどの方にお手伝いをお願いしました。本当によく働いていただきありがとうございました。また、大学以上の団体には、チケット販売をノルマとしてお願いしました。これもほとんどの団体に協力をいただきました。おかげさまで岡山県連としての責務を果たすことができました。心より御礼申し上げます。

⑧ 第 22 回岡山県ヴォーカルアンサンブルコンテスト (2/8)

前頁を参照。岡山県から 5 団体も出場するとは素晴らしいことです。時間があれば聴きに行きたいのですが……。

このように、どの大会でもスタッフとして手を挙げてくださった方々の献身的な働きと、各事業に積極的に参加・出場して下さる各団の向上心なくして大会の成功はありえません。来年度もどうぞよろしくご協力をお願いいたします。

【事務局通信 II】 会費等の改定について

昨年 4 月の定例総会で連盟会計の赤字についてお話したと記憶しています。新体制となり、事務局長として 1 年間連盟の諸事業を運営させていただきました。諸経費について無駄や贅沢の無いように注意して運営して来ましたが、やはり現行の会費等での収入だけでは、支出を賄うことが出来ないと判断しました。そこで 1 月理事会において会費等の改定を提案し、2 月理事会で下記のように承認されました。理事会では近隣の各県からいただいた会費等の資料を参考にして検討しました。この資料は各団にお送りしていますので、関心のある方は代表者又は連絡責任者に確認してください。

事業名等		今までの金額(円)	2015 年度の改定額(円)	その他
連盟会費 (全日本分 3000 円を含む)		6,000	8,000	一団体
団員登録費		100	200	一人
合唱フェスティバル	参加料	大学以下 800 一般おかあさん 1,000	大学以下 1,000 一般おかあさん 1,500	入場料を無料に変更
おかあさん大会	参加料	1,000	1,500	入場料は無料のまま
県コンクール	参加料	1,500	1,500 (改定なし)	700 円 (改定なし)
アンサンブルコンテスト	参加料	今年度改定済み		

この改定により、県コンクール以外の事業は黒字化されることでしょう。4 月の総会で「決算状況を見て」とした理事に対する理事会出席のための費用支給も可能となります。全日本からのハーモニー購読数が削減され、負担が軽減された面もありますのでこの会費等の改定についてご理解いただきますようお願いいたします。(事務局長 内田 毅)

次号 (92 号) は 5 月に発行する予定です。原稿をお寄せ下さい。